的矢湾アマモモニタリング状況
調査地点：坂崎
方　　式：マット方式

調査日時：令和 3 年 5 月 24 日
アマモの様子：体高 50 ㎝以上

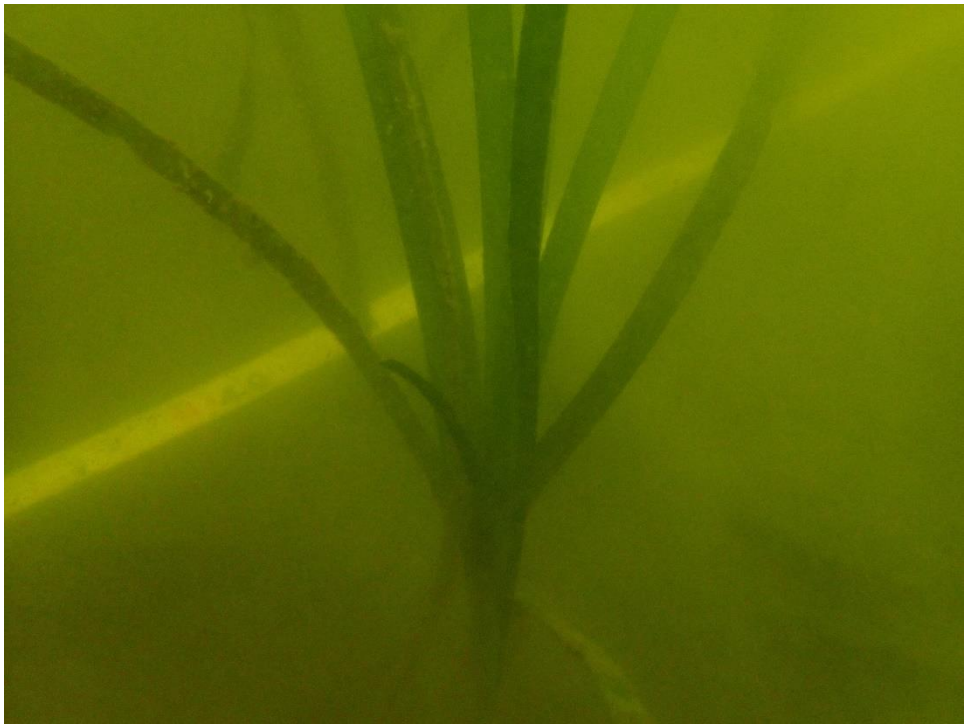
港西側海底はこれまで同様、多量の枯れ葉・竹類・流木などで覆われており、アマモは確認できなかった。

港内では、マット状にラインを設置し地点ごとの生育状況を確認。南側から 14m地点までは点在程度しか確認できなかったが、この地点以降は非常に密な状態の分布が認められた。18m地点まで密な状態が確認できた。体高は 50 ㎝以上がほとんど。中には種を作る「花穂（かすい)」も確認することができた。

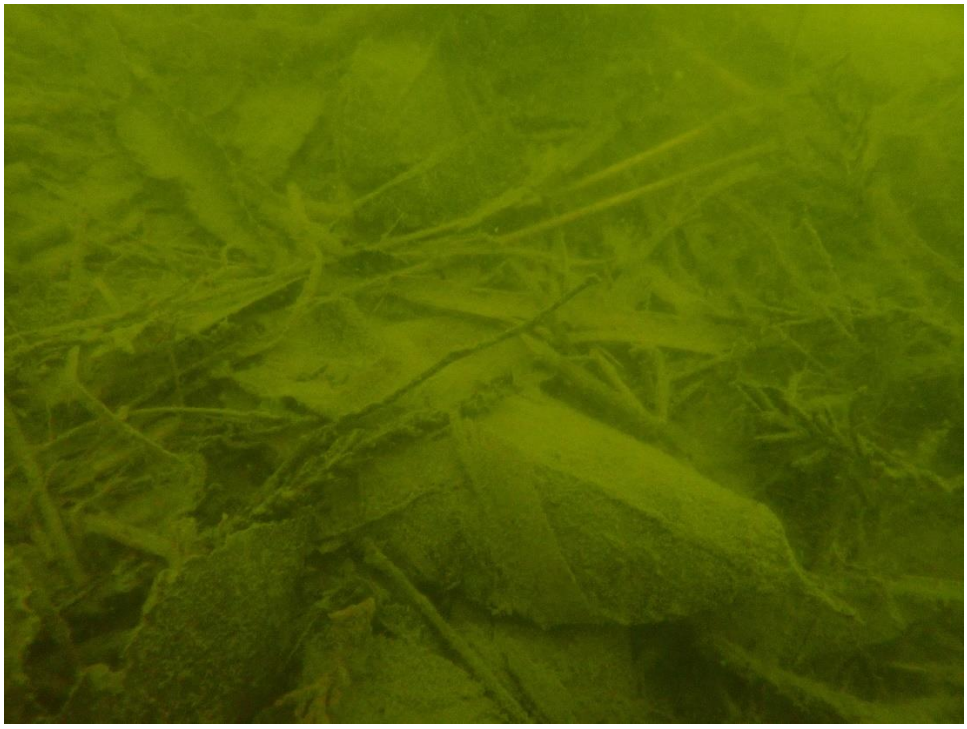
これらのアマモは、前回のモニタリングで確認したものが、そのまま成長したものと思われる。

港内地点

港内地点



港外西地点



的矢湾アマモモニタリング状況
調査地点：オガエ
方　　式：マット方式

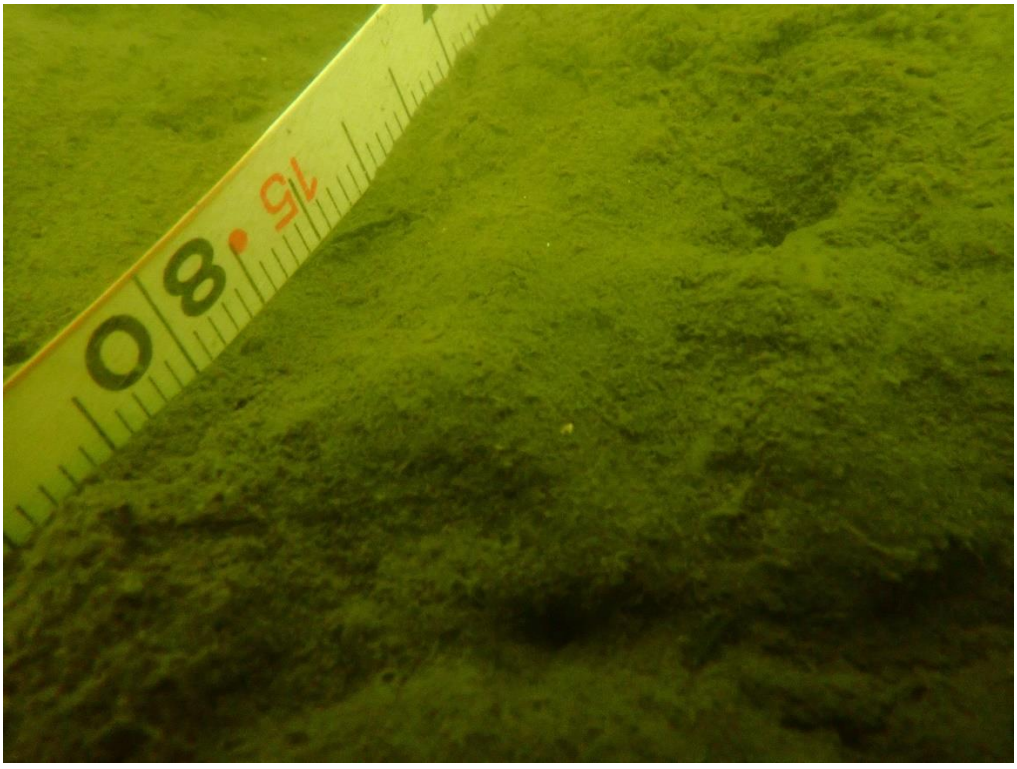
平成 30 年度設置　マット
調査日時：令和 3 年 5 月 24 日
アマモの様子：確認できず

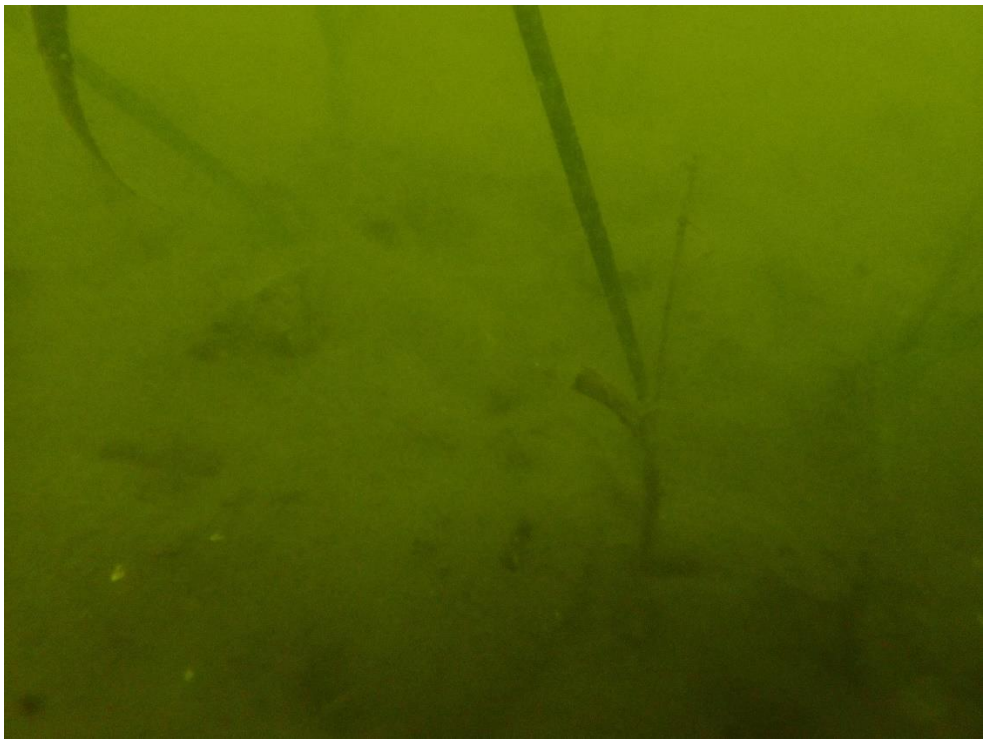
平成 30 年度に設置したマット状には、今回の調査ではアマモを確認することができなかった。前回（令和 3 年 2 月）調査時には、25 ㎝程度のアマモを 2 か所で確認していた。

この地点の底質の粒度は相当細かく、潮流の影響でアマモが流されてしまうことは考えられる。

マット上の堆積は、安定した状態でこれまでと同様であり、南側で約 5～7 センチ、中央付近から北側は約 5 センチであった。

マット周辺



平成 29 年度設置　マット
調査日時：令和 3 年 5 月 24 日
アマモの様子：10～20 ㎝

前回調査では、マット状のアマモは 10～20 ㎝程度の体高のものが、
20～30 ㎝感覚でちらほら分布する状況であった。今回調査では、
これらのアマモはほとんど成長がみられず、分布数も減少していた。